



Futanari Blend

[ふたなりブレンド]

R-18
成人向け



それは
友達になつてから
間もなくのことだった

小学二年生の夏

わたしたちはお互いに
ふたなり同士であることを
そこで初めて知った

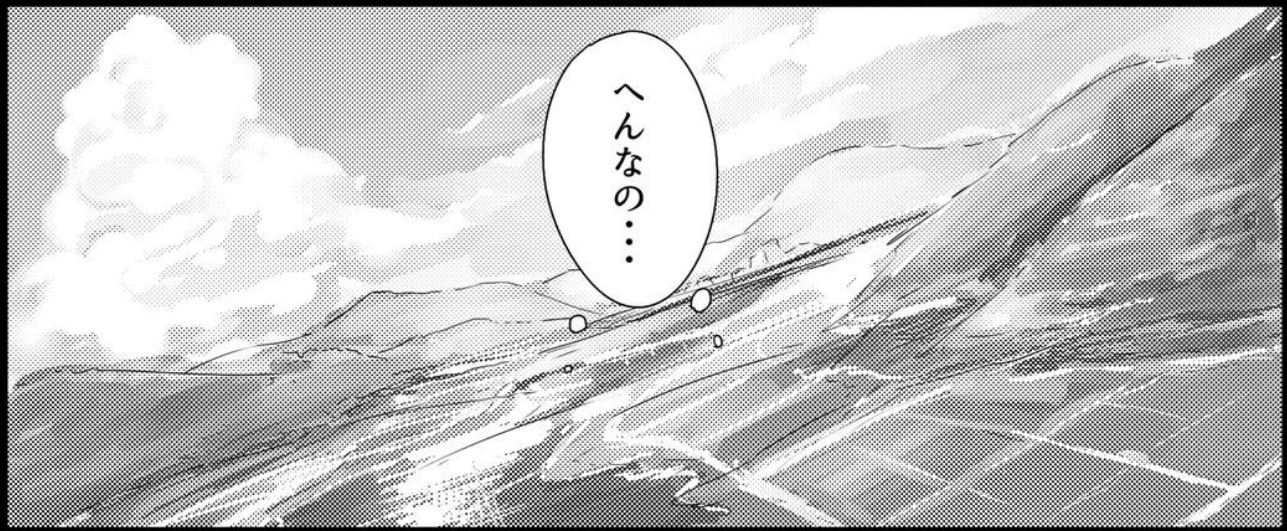


白美ちゃん
おちんちん
あるのに

どうしてわざわざ
座っておしっこして
いるんだろう...

なんで黒音ちゃん
女の子なのに
男の子みたいに
立っておしっこ
してるのかな...





へんなの...



白美ちゃん
ほらみて!



まだ性器に対して
性的な認識のなかった
当時の私たちは

おちんちんの
正体っ!

『わっ』

わっ

なにそれ!
だいじょうぶ?
いたくないの?

自分のおちんちんを
無邪気に見せあつたり
していたけれど...

小学四年生になり
お互いの体に対して
そういう意味で
興味を持ちはじめた
私たちは

人気がない場所でする
“お遊び”に
夢中になっていく

“お遊び”という呼び名は
芽生えつつあった二人の
性に対する幼い羞恥心を
抑えつけてくれた…

パパとママがこうしてたの
見たことあるんだ

こうやって
ちんちんで
チュッチュって
するんだよ

わっ…
なんだかおちんちん
ムズムズするよ…

ドキ
ドキ

ちゅっ♡

あれっ
なにか透明なおつゆ
出てきた
なんだろう…

ピクッ

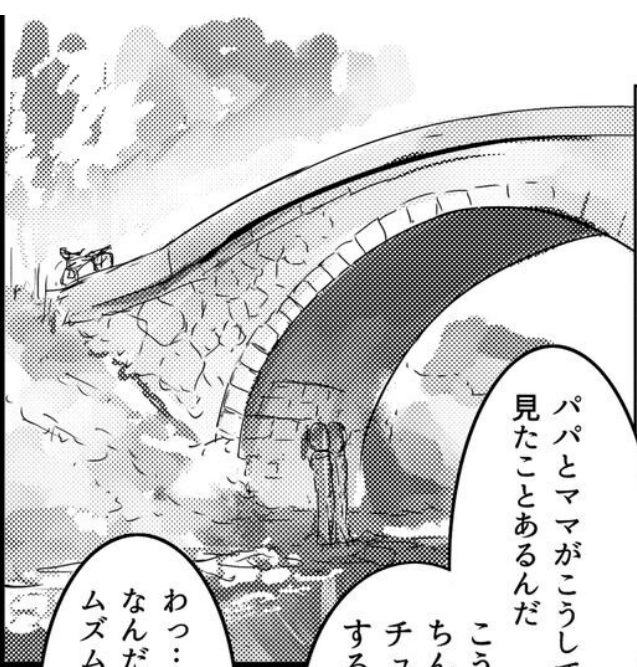
プルッ

プルッ

トロ

オ…

ねえねえ
もつと出してみようよ







テクニクも
知らないまま
本能の赴くままに
相手の身体を
求めるだけの行為

ヒトという動物の
“交尾”と呼ぶに
相応しいものだった
と思う…



中学二年生

身体つきは女性らしさを増し
幼さが少しずつ薄れていく中で

おちんちんは
見違えるほど成長して
睾丸は女性器が隠れるほど
たわわに実っていった

亀頭は発情したかのように
赤みを増してより扇情的になり
肉棒は性欲を剥き出しにして
より卑猥さを強めていき
玉は精子を蓄えて
重さを増していく…



性器の成長と共に
精液の量も増えて
どんどん濃くなっていく

こんなにたくさん
出してしまつて
大丈夫なのかと
不安になるくらい…



ドキドキ

気が付くと――

んっ……

女の子の私でも
一緒にいるだけで
ドキドキするくらい
白美は美少女になっていた

その美少女の下半身には――

皮かむりだったおちんちんから
花弁を思わせる
可憐な薄桃色の亀頭が
恥ずかしそうに顔を覗かせる
色白で大きな肉棒

豊満なおっぱいと
同じく大きく実り
熟れた果実のように
いやらしく垂れ下がっている
みずみずしい睾丸……

そのアンバランスな姿に
私はいつも目を奪われていた

をぶっ……

びるるっ

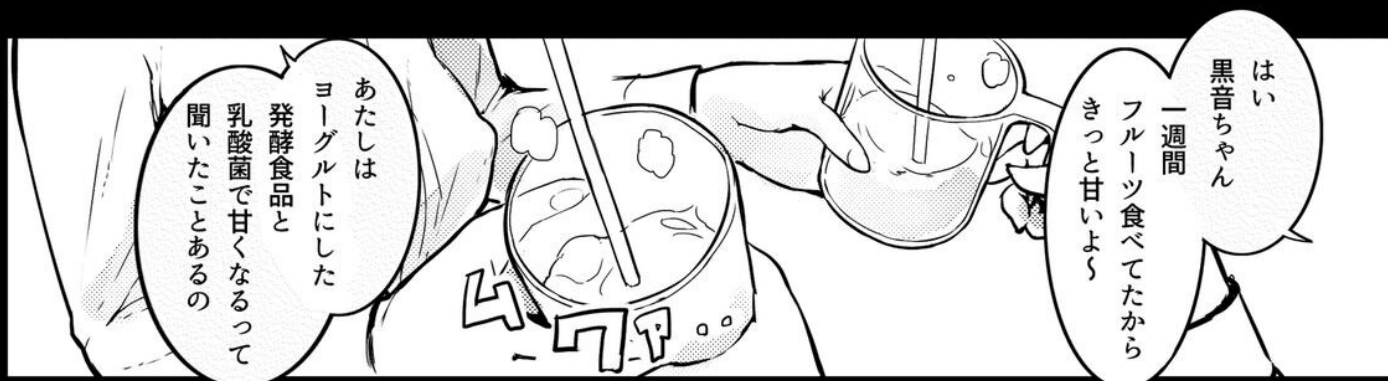
びくっ

びくっ

ふるるっ

びくっ

びくっ





…互いの精液を絡ませて
この世界で私たちだけの
二人だけが味わうことの出来る
秘密の精液を練りあげる

無垢な秘所に大きく実った
二つと二つの果肉から
絞りだされた未成熟の果汁に

少女の熱と
甘酸っぱい唾液を加えて作る
内緒のブレンドを
舌と、喉と、鼻腔、心で
深く深く味わいながら――



桃色に赤らむ
肌と肌が触れ合って
幼い熱と熱が交じり合う

舌の上で
瑞々しく跳ねる
精子と精子が
絡み合う

少女特有の
薄紅色の亀頭と亀頭が
艶めかしく絡み合って
体液が交じり合う――





ニチャッ

ドクッ

ビュッ

ドクッ

一緒にイッちゃったね...

うん...

この頃すでに
私たちは愛し合っていたのだと思う

素敵な出会いだった訳じゃないし
燃えるような恋の駆け引きもない
憧れるような告白どころか
恋人宣言があった訳でもない

肉と肉の
本能と本能の
獣同然の肉体関係——

白美の熱い精液
おちんちんと
タマタマにかかっている...
もっと沢山染み込ませて
白美の匂いと味と色で
染めてほしいな...

だからそれは間違いなく
“純愛” だった

何の外的要因もなく
二人の間で芽生えて育まれた
私たちだけの恋愛——

うん...
黒音ちゃんのおちんちん
これからもっともっと
私のお汁を吸わせて
あげるからね

ビュッ

ビュッ

キュッ

キュン♡



あつという間に
時間が過ぎていった



その後も
数え切れないほど
体を重ねて

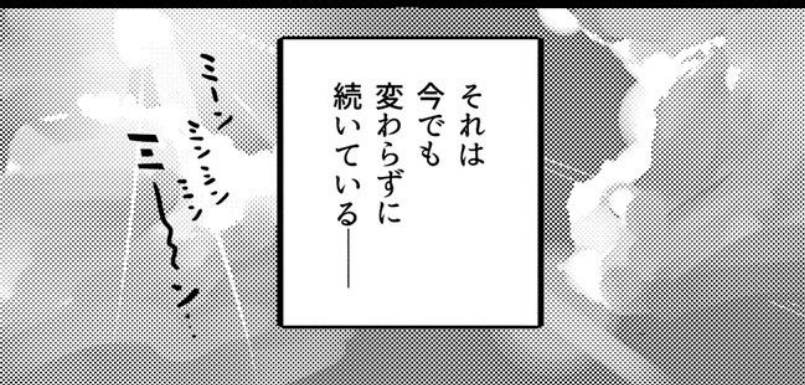


こうすることが
私たちの営みの一部に
なっていたのだ

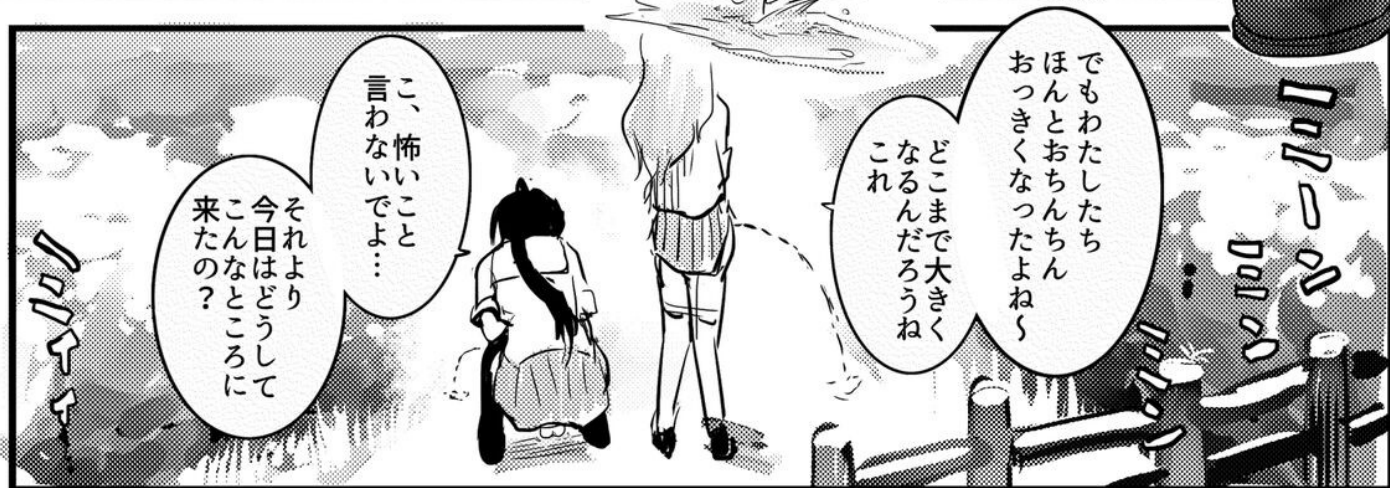
ふたなりの性欲の
強さもあつたと
思うけれど



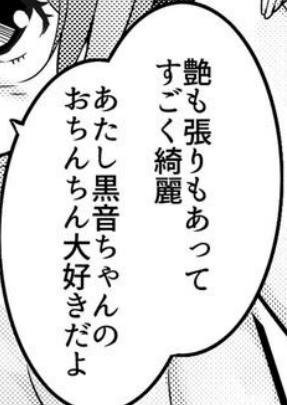
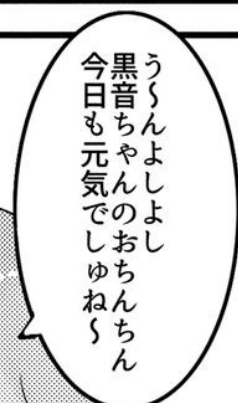
思いつく限りの
体位を試してみた



それは
今でも
変わらずに
続いている――







口では抵抗しているけれど
いつも通りの照れ隠しで

私をその気にするために
白美がおちんちんを舐めて
くれることを見越してのものだ

私は白美のフェラが気に入っていた

例えるなら
母猫が子猫の毛繕いをするように
亀頭を綺麗に舐め上げていく
慈しむような舌使いで

私の緊張や恥じらいを
あつという間に
溶きほぐしてくれる

そんな私の気持ち
白美はいつも
理解してくれて
応えてくれた

そして
私の亀頭を舐めながら
自分の性器を
見せつけるように
しごいてみせるのだ――

たぶん

ぐにゅ

あつー

私たちのキスは
上下同時

舌と舌で唾液を交換し

亀頭と亀頭で
愛液を交換する

鼻腔をくすぐる
ツンとした蜜の香りに
包まれながら――

艶かしく絡み合う肉棒で
相手の昂ぶりを感じとり
行為を徐々に進めていく

サ
ア
ア
ア

グチュ♡

グチュ♡

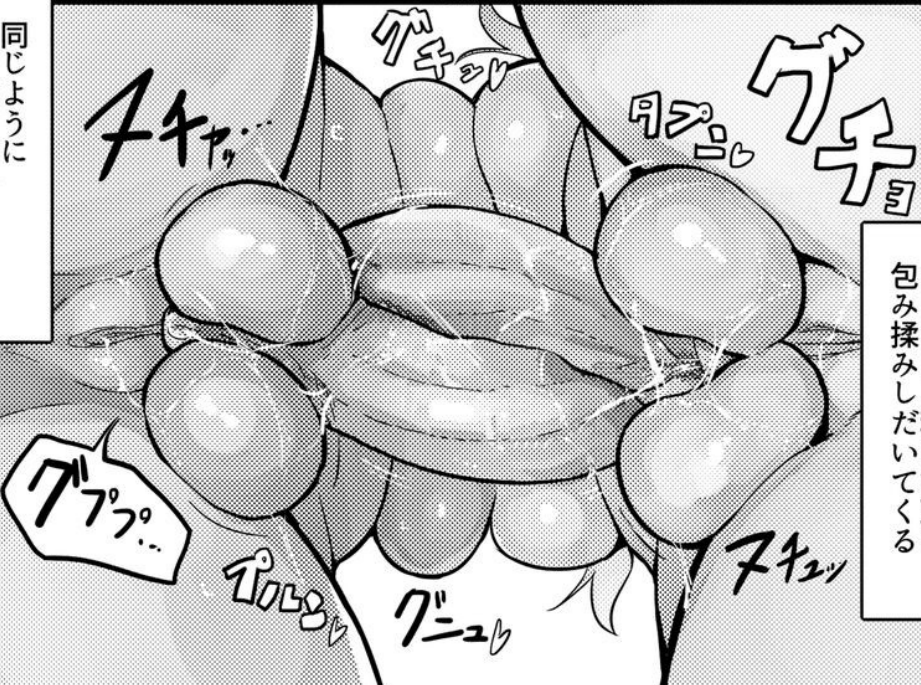
グチュ♡

肉棒の蜜と肉壺の蜜に
まみれながら
いやらしい水音をたてて
交わる亀頭と玉袋

私のよりも少し大きくて
ずっしりと重たい
白美の精巣が皮越しに
コリコリと私の亀頭を
包み揉みしだいてくる

同じように
私の張り詰めた
玉袋に白美の柔らかな
亀頭が入り込んでくる

白美よりも少し
引き締まった
二つの実りが
プルンと
白美の先端を
挟み込むように
しごいていく





ね
黒音ちゃん

今日はちよっと
変わったこととして
あげる

変わったこと...?

えへへ...

ドロオ...

た

ふん...



ほら
こうやって…

黒音ちゃんのおちんちんを…

わたしの
おちんちんで
食べちゃうの

白美の大きく口を広げる皮と
桃色に充血した亀頭から漏れ出る
熱い吐息が触れて肉棒が
ビクンと震えた瞬間

熱っ…!!

ん…っ
黒音ちゃんの先っぽ
たべちゃったあ…

くっ
くっ

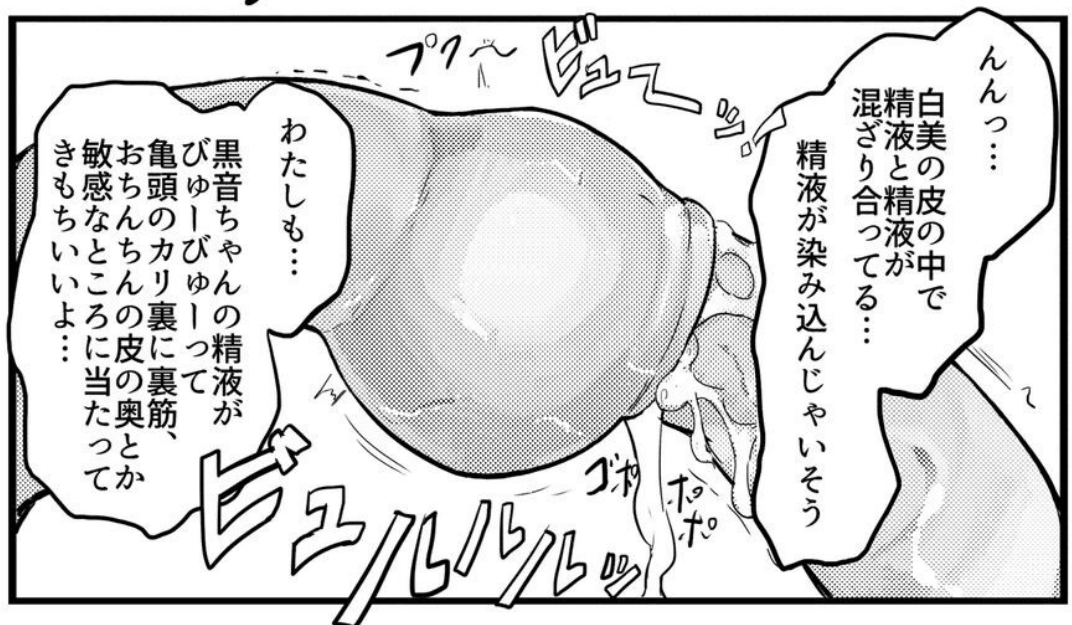


すごい…コン…

白美のぷりぷりの亀頭と
皮裏の細かい血管の
コリコリとした感触が
直接伝わってきて…
それだけでも…
どうにかなりそうなのに

皮の中に閉じ込められた
二つの亀頭の熱がこもって
際限なく熱くなっていく…

熱で敏感になった
亀頭が亀頭の凸凹を
感じ取りすぎて
おちんちん
沸騰しそう…!!



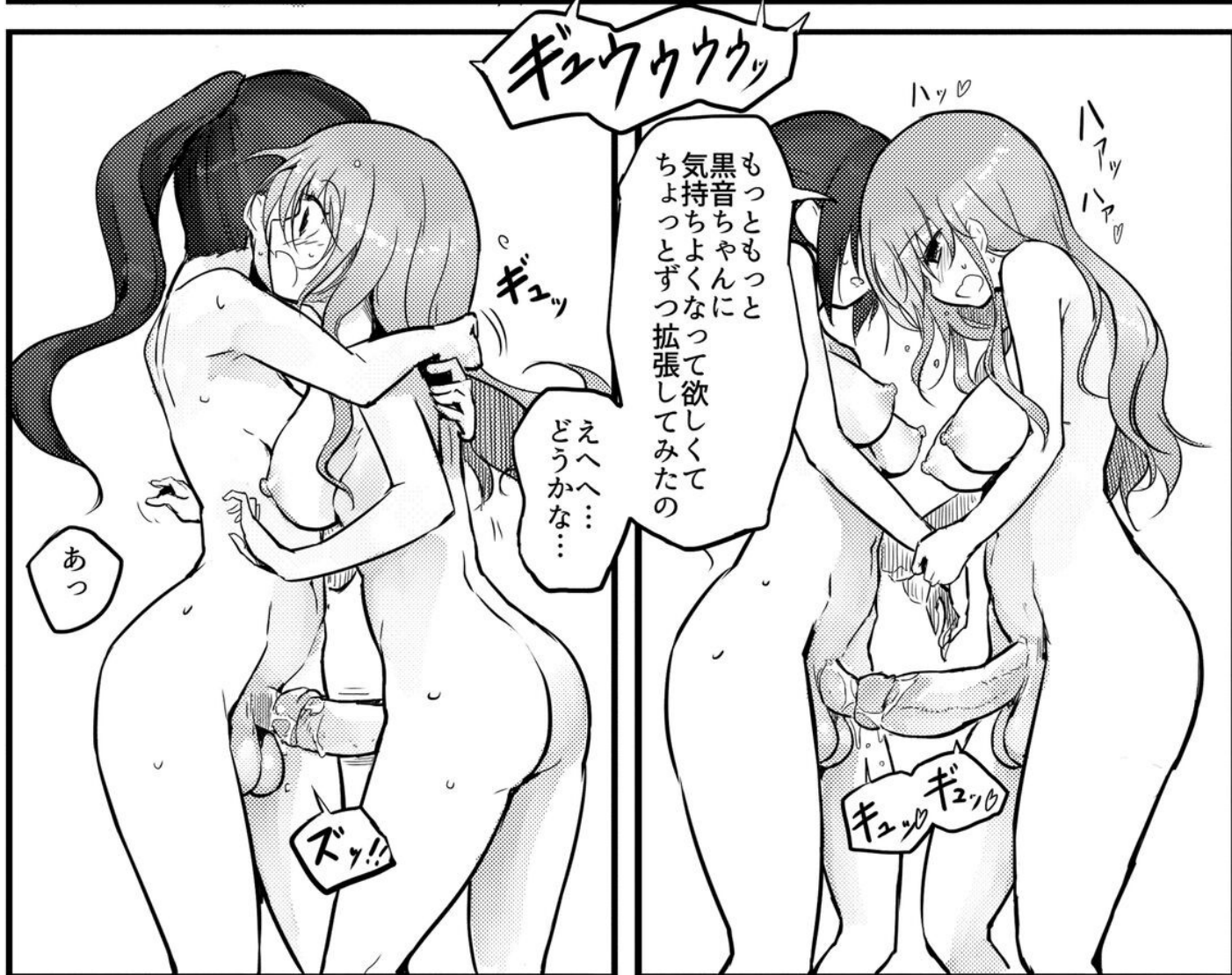
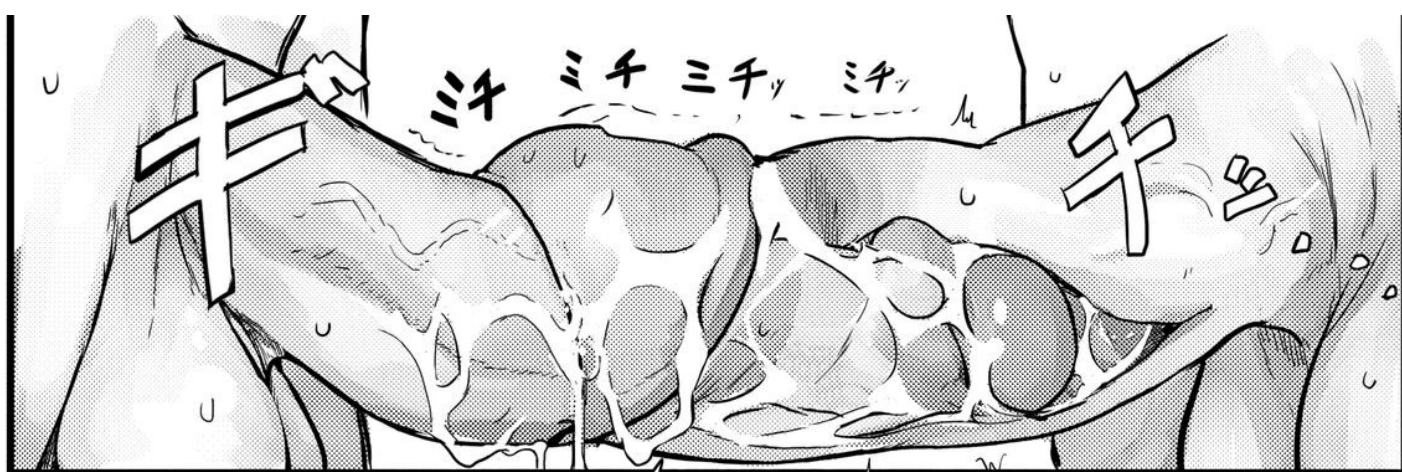
まだ黒音ちゃんのおちんちん食べてないもん

ほら
こうやって…

あつ
白美のおちんちんが
わたしのを…

わたしのモノ
亀頭の口で
吸い付かれて…
飲み込まれてる…!!

あつ
あつ
ああつ…!!









数年後



私たちはこれから

母親同士になろうとしている

くろうがさき くろね

九廊ヶ崎 黒音

(物語終了時点のプロフィール)

- ・九廊ヶ崎(くろうがさき)は舞台の地名でもある
- ・地主の親族の娘
- ・お嬢様というほどではないが、育ちは良い
- ・ペニスを人に見られる、あるいは意識される(股間をじろじろ見られる)のは人並みに恥ずかしいと感じる。特に人前では勃起しないよう注意している。
- ・ペニスは常に清潔に保つよう心がけている。

子供の頃は
やんちゃだった
が
その後は
少しづつ
おしとやか
さを
身につけて
いった

体を動かすことと
本を読むのが好き

その後
女の子(ふたなり)と
男の子を無事出産した

ミルク
飲む?

- ・非勃起時も皮は完全に剥けている。
- ・内心では、包茎おちんちんのほうが可愛くてうらやましいと思うことがある。
- ・男性に対して、特に苦手意識はない。ただ、白美への好意(依存)が強すぎるため、縁は無いだろうな、と思っている。

- ・精液はやや粘りが強く、濃い目。

- ・ペニスのサイズは10~25cmくらい。

- ・張りがよく、バランスの良い形のペニス。白美いわく「アスリートって感じ」

- ・白美のペニスよりも亀頭の色は若干赤みが強い。

- ・射精量は通常200ml~300mlくらい
ただしプレイ内容や快楽の度合いによっては著しく増大する場合がある。

- ・妊娠中は精巣の大きさが増し、精子の量も増えて、たんぱく質が多くなる。
- ・乳房と同じように、頻繁に搾る必要がある。
- ・妊娠中の精液は栄養価が高いらしい(白美談)



・幼い顔つき。

すわ しろみ

洲和白美

(物語終了時点のプロフィール)

- ・色々いわくつきの家系の娘なのだけど、今回の話にはまったく関係ない。
- ・ロシア系の血が入っていると思いきふたなり娘。
- ・幼い頃はおどおどしていたが、黒音との出会いで徐々に明るく活発になっていった。

- ・ペニスを人に見られてもあまり気にしない。ただ、露出癖があるわけではない(多分)。

- ・包茎の皮は見た目以上に厚く、とてもよく伸びる。

- ・黒音と同様、20代になって金玉にしわが出て、いやらしくなった。

この後、
二人の女の子
(ふたなり)を無事出産。

- ・玉は大きい。
- ・玉の皮は厚めで、触るとムニムニする。肌に吸い付いて凄く気持ちいいらしい。

- ・ペニスは最大で30cm近くにもなる大業物。ただし非勃起時は意外と小さく、8cmほど。

- ・精液は多め。
300ml以上500mlくらい。

- ・いつも甘いものを食べているせいか、精液はほんのり甘くてイイ香りらしい。

- ・おちんちは仮性包茎の皮かむりで、ちょっと匂いがする。しかし臭いわけではなく、癖になる、フェロモンを思わせるようなかぐわしい匂いらしい(黒音談)

おちんちん
おちんちん
おちんちん

ブルン

あとがき

メッシーです。
本作を手にとりいただき、誠にありがとうございました。

尿道出産の一冊目「Futanari Planter」、
ふたなり教師が男子生徒に女の子おちんちんを
ひたすらいじられまくる二冊目「Futanari Teacher」、
そして三冊目の本作「Futanari Blend」は
ふたなり娘二人の(おっぱいとおちんちん)成長と
イヤイヤ尿道姦がメインの作品となりました。

尿道姦についてはもっとじっくりネットリ描いてみたいですね。
尿道拡張から尿道セックスという風に、
いつか尿道姦メインで再チャレンジしたいです。

さて、これまでの三冊は
とにかく本を作り上げる、という気持ちで描いていたのですが
次回は一度初心に帰り、
丁寧に本を作ることを目標に描いてみようと考えています。

どのような作品になるかはまだまだ分かりませんが、
どうぞお楽しみに。

Futanari Blend

■2016年 8月14日
コミックマーケット90 初版発行

■発行
エフ屋
メッシー

■連絡先
<http://pixiv.me/majinmessy>
https://twitter.com/messy_futanari

■印刷

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

ハイビジョン印刷 ドットコム

ハイビジョン印刷

検索





presented by
エフ屋
玉付きふたなり娘工房

